



ロータリー
変化をもたらす

2017~18年度 D-2700 No. 28 2018年4月20日

小倉ロータリークラブ 週報

R1テーマ：“ロータリー：変化をもたらす”

R1会 長：イアン H.S. ライズリー 氏
(所属：サンドリンガム RC)

地区テーマ：“拡がりは変化をもたらします”

地区ガバナー：安増 惇夫 氏(所属：宗像 RC)

クラブテーマ：“ロータリーの輪を拡げる”

会長 荒木 英生 / 幹事 合馬 誠一



表紙写真(テーマ/京都)

祇園白川の清流は、琵琶湖疏水の水です。観光客で賑わう異橋附近をテリトリーとする青鷺君が魚採りショーを披露してくれます。京都は、鳥までおもてなし精神満載です。

【撮影：辰巳会員 京都にて】

例会場 リーガロイヤルホテル小倉 TEL 093 (531) 1121

《報告に関して、敬称略》

例会日 毎週金曜日 12:30~13:30

事務局 e-MAIL : krpc@rid27.jp

事務局 北九州市小倉北区浅野 2-14-2 リーガロイヤルホテル小倉 2F

TEL (531) 1727 FAX (522) 4333

会報・雑誌 委員会 委員長：増田 雄一

副委員長：豊川 智彰

委員：高取 亮・村上 公幸・渡邊 昌春・松田 恵作・辰巳 和正

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

本日の例会 第3353回

- ・ロータリーソング “それでこそロータリー”
- ・卓話 (公財)がんの子どもを守る会
九州北支部 代表幹事 山本 章子 氏

第3352回 例会 記録

4月13日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング “我らの生業”
- ・会員卓話 (株)TVQ 九州放送

専務取締役北九州本社代表 児嶋 昭 氏

歌うことと国旗を掲揚することで、国の利益には反しない純粋な奉仕組織の証だと説得したのが由来のようです。

高校野球の試合前の脱帽挨拶は、明治44年が始まりのようです。当時野球のような遊びに熱中すると勉強がおろそかになるというネガティブキャンペーンがあり、それに対抗するために礼を重んじる武士道精神に絡めて始まったようです。今回、賛否両論があると思いますが、残念ながらその延長上で春の福岡県大会で初優勝した小倉高校が、春の九州大会出場辞退をしたのなら本当に残念なことです。

幹事報告

坪根 副幹事

・本日配布の週報 No. 27 に訂正があります。4 頁の行事予定で、「5 月 21 日(土)早朝清掃」は、「5 月 19 日(土)」の誤りです。

・安増ガバナーより、ポリオ撲滅への寄付の依頼がきています。「ポリオプラス 10 ドルチョイ」をキャッチフレーズにされ、10 ドル以上をお願いしますとのことです。本日、寄付ボックスを回しますのでよろしくお願いいたします。ロータリー財団へ寄付いたします。

・4 月 21 日(土)の地区研修・協議会にご出席される次年度委員長等の方々は、4 月 27 日(金)の例会で、部

会長の時間

荒木 英生 会長

すっかり春めいて過ごしやすくなりました。入学式も各地で天候に恵まれて行われたようです。入学式などでは国歌を斉唱します。ちなみにユニゾンで歌うのが斉唱で、ハーモニーがあるのが合唱なんだそうです。ロータリーでも歌を歌いますが、この始まりは 1905 年創設の年にシカゴ RC で連帯感を盛り上げるためでしょうからすでに始まっていたのは有名ですが、国歌については昭和 8 年の既に戦時色の強かった頃だと思いますが、京都 RC の例会に右翼の壮士が押しかけ、アメリカのスパイなどと言って妨害しようとした際に国歌を

会別協議会の報告を3分程発表していただきますので、
よろしくお願いいたします。

会員卓話

(株)TVQ九州放送 専務取締役北九州本社代表

児嶋 昭 氏

『これからのテレビ』



日本でテレビ放送が始まってから今年で65年になりますが、最近インターネットがさまざまに進化するなかで、テレビの世界にも変化の波が押し寄せています。

まず、今年12月からテレビは「4K時代」を迎えます。衛星放送のチャンネルですが、NHKと民放キ

一局5局のあわせてBS6局で「新4K8K衛星放送」が始まります。4Kは画素数がいまのフルハイビジョン(2K)の4倍、8Kは16倍と非常にきめ細かい高精細の映像です。それこそ髪の毛の1本1本、水滴の1滴1滴まで鮮やかに描写され、臨場感が高まります。とくに美しい自然、スポーツ、芸術作品などの分野で強みが発揮されそうです。災害のときの正確な状況把握のための映像としても期待されます。

その鮮明な4K映像の活用例として、これはテレビ放送ではありませんが、NTTドコモが3月末に熊本のアサヒ市で行った実験があります。ドローンと4K映像を使った九州で初めての次世代通信規格(5G)の実証実験です。現在の通信方式の100倍の通信速度と1000倍の容量を持つ技術を生かし、災害が起きた際にドローンを飛ばして上空から撮影した4K映像を即時に地上に送る実験でした。実用化されれば、災害時だけでなく、社会的なインフラの点検などにも威力を発揮しそうです。

2020年に東京オリンピック・パラリンピックがありますが、政府としては、これが4Kテレビ普及の契機になり、2020年時点で国内の普及は約2600万台、世帯普及率は約50%とみる予測もあります。テレビの買い替えサイクルは平均9年余といわれ、地上デジタル化直前の2010年ごろ買い換えられた多くのテレビがちょうど買い替え時期を迎えるという事情も背景にあります。

しかし、周知のようにインターネット全盛の昨今は「若者のテレビ離れ」が取りざたされる時代です。

総務省の調査(昨年7月発表分)によると、平日の平均視聴時間を世代別にみると、10代はテレビが89分、ネットは130分、20代はテレビ112分、ネット156分と、テレビよりネットを見ている時間の方が長くなっています。30代以降はテレビの方が長く、とくに60代ではテレビ259分、ネット46分と圧倒的にテレビ優位ですが、若い世代はやはり違います。時間だけでなく、最近はテレビそのものを持たない

出席報告

加藤(守) 委員長

2017年7月1日:63名でスタート

	会員数	出席者数	メイクアップ	出席率
当日の出席	67名	42名	—	70.00%
先週の出席	67名	42名	24名	98.33% 修正後

◆ゲスト 1名 (卓話者)

◆ビジター 0名

ニコニコ献金

南浦 副SAA

18,000円 : 累計金額 537,084円

原田 光久 君

暫くです。

①小島庸匡先生、先月25日八幡の響ホールでの関西学院グリークラブのコンサート、夫婦で楽しみました。有り難うございました。

②加藤守夫先生、先月26日、いつものようにお世話になりました。10日、11日は済みましたが予定は16日も。更にその先にもと思います。今回の歯の痛さは初めて知った感じです。

③4月3日小生のイトコである宗像RCの福江優氏が来社し、地区大会の出席者が増えるよう出来るだけのことを…とのことでした。よろしくお願いします。

村上 充生 君

①JRA松田さんの入会を歓迎して。

②途中退席いたします。ペコペコ。

原田 鉄司 君

満84歳の誕生日を迎えましたので。

伊与田 修 君

合馬先生、母の件では大変お世話になりました。月曜日に無事退院しました。

村上 公幸 君

本日、54歳の誕生日を迎えました。

青木 忠興 君

印象派展のチラシをお配りしています。ぜひお出かけ下さい。チケットは青木にお申し付け下さい。

お詫びと訂正

週報 NO.27(4月13日発行)

4頁 5月の行事予定の箇所

誤: 21日(土) … 早朝清掃

正: 19日(土) … 早朝清掃

お詫びして訂正致します。

若者も増え始め、29歳以下の世帯のテレビ普及率は、2007年の96%から2017年は85%まで低下しています(内閣府の消費動向調査)。15%はテレビそのものを保有していないわけです。ただ、メディアとしての信頼度を聞いた設問では、信頼度が高いのは、新聞70%、テレビ65%、インターネット34%、雑誌20%の順。年代別にみても、20代でも新聞64%、テレビ60%、ネット42%、雑誌21%、という結果で、信頼度という面では、まだ若い世代にも新聞、テレビを挙げる人が多いようです。

デジタル技術の進展に伴い、現在はネットを使った動画配信が多様な形で実現しています。これがテレビにも大きな影響を与え、いわゆる放送と通信の融合が話題になるようになりました。

無料の動画配信サービスとしては、よく知られたYouTube、GYAO!、ニコニコ動画のほか、テレビ系でもAbemaTV(テレ朝系)、在京キー局5局の共通プラットフォームの見逃し配信TVerなどがあります。有料モデル(都度課金、定額制)では、Netflix、Amazonビデオ、dTV、DAZNなどのほか、テレビ系もオンデマンド型などさまざまです。

ちなみにテレQのキー局であるテレビ東京はTBSやWOWOW、日経新聞、電通、博報堂DYメディアパートナーズと共同出資でPPJ(プレミアム・プラットフォーム・ジャパン)をつくり、Paraviの名前で動画配信サービスを今月から開始しました。新作ドラマ、バラエティー、アニメ、経済ニュース、ドキュメンタリー番組などの見逃し配信のほか、オリジナル番組も提供します。

放送と通信の融合が進む中、いま議論になっているのが、番組の常時同時配信サービスです。NHKで実証実験の取り組みが行われ、2020年東京五輪へ向けての動きが進んでいます。ただ、民放業界は慎重姿勢です。配信コストの負担や権利処理の問題があるほか、アクセスが集中したとき安定的に配信できるのか、という懸念も拭えません。現状では、課題は山積しています。

こうした中、民放ローカル局の将来像は気になるところです。時代に応じた変革は必要ですが、キー局と比べ資金にも要員にも限りがあります。しかし、たとえば民放連の2016年10月の調査で「役に立つ」という評価は「地域の気象情報・交通情報・グルメ情報」「ローカルニュース」が高く、これらはどの地域でも必ず上位に入ります。地域に根差した放送局として存在意義は小さくありません。テレQも規模は小さな局ですが、地域の応援になるような番組づくりを目指しています。この4月からは新たに北九州市の魅力伝える番組を担当することになり、「好きっちゃ北九州」のタイトルで毎週火曜夜の放送を始めました。これからもローカル局のひとつとして、さらに親しまれるよう努力します。

E テーブル会合 報告

日 時：4月16日(月)18時30分～

場 所：南国酒家

参加者：荒木、原田(光)、村上(充)、辰巳、森、木曾、山本(泰)、中溝、緒方、事務局、テラ



村上会員のお世話で、京町にある南国酒家でEテーブル会合を開催しました。日程調整や場所の設定のみならず、生年月日が記入されたメンバー表を作成いただき、「みずかめ座」会員テーブル(テラはさそり座?)であることがはっきりと確認され、乾杯前から話が盛り上がりました。

また、辰巳さん、緒方さんのヨットの話、木曾さんの大学講師の話などなど、興味深々のお話と沢山の美味しいお料理、どれほど飲んだか記憶にない紹興酒等お酒の力もあって盛り上がり続けるなかで、あっという間に時間が過ぎた楽しい会合となりました。

【報告者：中溝】

米山記念奨学会「特別寄付金」

例会当日寄付者

- ・荒木 英生 ・原田 光久
- ・八尋 重治 ・加藤 守夫
- ・伊与田 修 ・松本 篤
- ・小島 庸匡

合計	累計金額 (2017-18 年度)
24,000 円	446,000 円

【次回例会予告】

4月27日(金) 普通例会

- ・ロータリーソング“四つのテスト”
- ・地区協議会報告